

CONTENTS

■ 理事長室から 3

【特集】

海底鉱物資源開発の現状と海技研の取り組み 4

■ 寄稿：実業を視野においた研究開発を 12

横田 健二・株式会社MOL シップテック 代表取締役社長

海技研の研究紹介

インテリジェントシミュレータの構築

～新しい航海支援システムの評価のために～ 13

三宅 里奈

機関点検支援システムの提案 16

沼野 正義

青春グラフィティ

若手研究者に聞く② 19

塩刈 恵

海外だより

音楽の都、ウィーンの短い夏 23

近内 亜紀子

新造船紹介

53トン型港湾業務艇(旅客船)「たかしまⅡ」 24

石田造船株式会社

新造船写真集

..... 27

FPMC B JUSTICE / PILBARA MARU / HELSINKI
BRIDGE / ENERGY TRITON

TOPIC

国際海事展「SEA JAPAN 2012」にブース出展 2

3研究所合同で「春の一般公開」を実施 29

さいたま市立大宮北高校の生徒13名が施設見学 29

動力システム系環境エンジン研究グループ

日本マリンエンジニアリング学会の論文賞受賞 30

三鷹・第二中の生徒10人が2日間の職場体験 30

コストリカ駐日大使が当研究所施設をご見学 31

「興山丸」の開発・建造に物流連の物流環境大賞 31

【おしらせ】

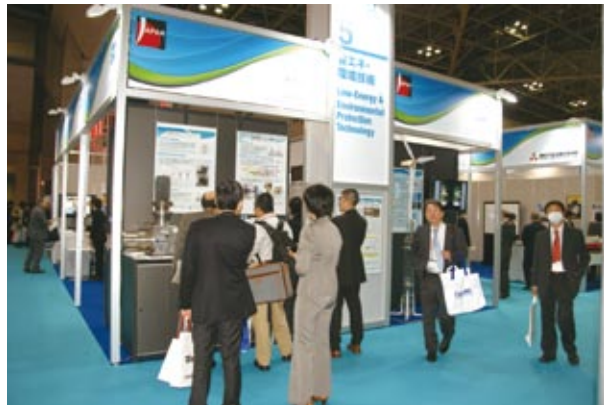
人事異動情報 32



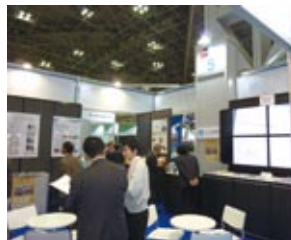
表紙写真「たかしまⅡ」

TOPIC

国際海事展「SEA JAPAN 2012」に出展



海技研の出展ブース



ブース内部



セミナー会場

国際海事展「SEA JAPAN 2012」にブース出展
4月18～20日、19日には海技研セミナーも

当研究所は、東京ビッグサイト(東京・お台場)で開催された国際海事産業展「SEA JAPAN 2012」(4月18～20日)のJapanパビリオンにブース出展しました。最新の研究動向・成果をパネルや映像で紹介するとともに、スターリングエンジン実機や浮体式洋上風力発電実験機などを展示し、当研究所の誇るコア技術の一端を見ていただきました。

今回の出展社数は27の国・地域から466社(このうち海外189社)。前回(2010年)の389社を上回る規模の国際海事展となり、3日間合計の展示会来場者は17,728名を数えました。

当研究所は日本船用工業会が実施した「Japanパビリオン」のテーマゾーンに出展しました。展示スペースは約50㎡と過去に例を見ないほどの広さとなり、ここにスターリングエンジンの実機や浮体式洋上風力発電実験機をはじめ、ECO運航支援システムCPP模型、巡回点検支援システム、FLNG・シャトルタンカー風洞模型、実海域水槽使用模型などを展示したほか、パネルやPCを使ってFLNGバーシングシミュレータデモや環境対応型運航支援システム、HOPE Light、CFD、NMRIWなどの各種成果を紹介しました。さらに艦装・電装工事の紹介ビデオや海難事故再現ビデオなどを上映するとともに、大型モニターを使って海技研や実海域再現水槽を紹介しました。

また、開催期間中の19日には展示会場で海技研セミナーを開催しました。セミナーは、全体テーマとして「環境負荷低減技術」を掲げ、5人の研究者がそれぞれ最新研究の成果を報告。来場者は講演を重ねることに増え、最後の講演(洋上再生エネルギー開発・井上俊司系長)では150人を超え、立って聴講する人々の姿も多く見られました。聴講者は5つの講演で延べ652人を数え、好評裡に閉幕しました。